

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372600615
事業所名	グループホーム 寿宴

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ホームの屋上から花火を見るために、地域の人に貸し出しをして数名が来館し、花火を楽しんだ。今年の市民会館まつりには、利用者の貼り絵や書道の作品を出品してみんなで見に行ったり、地域の敬老会には利用者が6名ほど出席している。また、お祭りの山車を見に行くと席を用意してくれているなど、地域との関わりは年々深くなってきている。ボランティアは新しくフラワーアレンジや額田万歳などが加わっている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回開催されており、利用者の状況や活動報告をしたり、出席者より介護全般についての質問がある。また、地域の行事へのお誘いもある。会議の折に避難訓練を見学してもらい、あとで意見交換をしてもらっている。法人の他グループホームの責任者が交替で会議に出席するようになっている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 定期的に役所を訪れ、書類の更新、手続きやわからないこと、事故報告などを行っている。豊川市包括ケアシステムの協力施設に指定され、看護・介護の協力体制をとっている。豊川市の連絡協議会に参加し、医療、認知症などについての勉強会を行っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族会は年2回開催され、ご飯を一緒に食べたり、花火を楽しんだりしている。接遇についてのアンケートを年4回ほど行い、職員の意識向上に役立っている。「寿宴新聞」を年4回、「寿宝会便り」を毎月、また、各個人宛に写真付きの手紙を毎月発行し、家族に利用者の日頃の様子を伝えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。